



KUZUHA MALL 開業

開業後30年以上経過し、老朽化が進んでいた「くずはモール街」を全面リニューアルし、「KUZUHA MALL」として、新たなスタートを切りました。

2005
(平成17年)



東証第1部上場

株式価値の増大と、関東地区での京阪グループの知名度向上を図ることを主な目的として、京阪電鉄は東京証券取引所市場第1部に株式を上場しました。

2006
(平成18年)



車両に車いすスペース設置

バリアフリー化の一環として検討されていた車両内の車いすスペースは、前年に大津線の車両に京阪電車で初めて登場しました。さらに、この年に京阪線の特急車両、通勤車両にも設置されました。



2000

2004 (平成16年)



鉄道業界初の会社全体でのISO14001の認証を取得しました。

1992 (平成4年)

京阪東ローズタウンの街びらき

京阪電鉄が手掛けた大規模住宅分譲開発の第3弾となる「京阪東ローズタウン」は、1987年から造成が進められ、この年に街びらきしました。



1990



京阪電車 お客さまセンター開設

前年11月に発表した経営ビジョン「『選ばれた京阪』への挑戦」の実現への施策の一環として、お客さまからのご意見やご要望を直接いただき、その声をサービス向上に結びつける「京阪電車お客さまセンター」を開設しました。

2007
(平成19年)

1973 (昭和48年)

お忘れ物センターの開設

遺失物に関する業務の一切を行う「お忘れ物センター」を、この年、京橋駅片町口に開設。お客さまからのお問い合わせ窓口が一括化するなど、よりスムーズな対応ができるようになりました。

1980

1972 (昭和47年)



くずはモール街の開業

樟葉駅前に、地域コミュニティの形成を目的とした「京阪くずは体育文化センター」の開業に続き、広域ショッピングセンター「くずはモール街」がオープンしました。

1970



京阪中之島線開業

ビジネス街の中心で水都大阪のシンボルでもある中之島を走る、中之島線が開業しました。中之島と京都を結ぶ新路線として、今後の飛躍が期待されています。

2010
(平成22年)



省エネルギー車両の導入

中之島線開業にあわせて、省エネルギー車両である新型車両(3000系)48両を導入しました。

1960

1967 (昭和42年)



ATS 導入

安全運行をさらに高めるため、以前より研究を行っていたATS(自動列車停止装置)を、この年から特急で使用を開始し、関西大手私鉄の先陣を切って導入しました。

1968 (昭和43年)



くずはローズタウンの分譲開始

京阪電鉄の不動産事業は1960年から本格化しました。かねてより計画していた「くずはローズタウン」の第1次分譲が、この年にスタートしました。

おかげさまで 京阪電車

100th

京阪電車開業100周年

2010年4月15日、京阪電車は開業100周年を迎えました。

- 安全への取り組み
- 社会への取り組み
- 環境への取り組み
- その他